

## 巻頭言

### 「盆栽を伝える」 ということ

盆栽家 山田 香織



に取り組みます。子どもたちは、自分の住む町に海外へ紹介できるものがあると、熱心に聞いてくれます。そして、目を輝かせながら、剪定や植え込みの作業を進めます。「みんな、自分の盆栽が大きな木

母校の小学校で総合学習の時間に「盆栽」の講座を持たせていただいて3年が経ちました。約90分間で盆栽の苗木を剪定し、新しい鉢へ植えつける。その90分間から、子どもたちの想像力や向上心の強さに驚くことがたびたびあります。

私は、江戸時代から続く盆栽園の5代目として生まれました。子どものころから「将来は盆栽園を継ぐ者」として育てられましたが、中高生の頃は家業の存在が嫌でした。自由に自分の将来が描けないとも思いましたし、盆栽なんて古臭いと感じていました。しかし、最終的には「盆栽を後世に残すためにもやはり盆栽園を継ごう」と決心しました。決心したのは大学4年生の春でした。

今年で大学を卒業して10年になります。この10年は、「盆栽を広める」ための活動をして参りました。ご年配者の趣味としての盆栽ではなく、若い方にも、女性にも、そして子どもたちにも盆栽の楽しさをお伝えしたいと考えています。そんな中、機会を得て3年前から母校の小学校5年生に、地元根付いている「文化としての盆栽」をお話しています。

子どもたちは事前に、自分たちの住む町が「盆栽職人の町」であったこと、盆栽は世界共通語で世界中で楽しむ人がいること、盆栽の歴史などを調べます。私が担当する実技の時間では、90分間休み時間なしで、盆栽制作

に見えてきた？」と尋ねると、「見える、見える」と活発に反応を示してくれます。

盆栽は、鉢の中の植物で自然の風景を描くものです。ですから、絵画に似たところがあります。自分の描きたい景色を表現するものだからです。子どもたちには植物や自然に触れ合う時間を持ってもらいたいと思いますし、土や植物の根や葉の匂いなどを感じてもらいたいと思います。自然とふれ合って育ち、命とふれ合って育つべきだと私は思っています。また、そんな時間を作るのが大人の責任だと思います。

私がこのように自信を持って言えるようになったのも、小学校の子どもたちとの時間を得たからです。彼らは何の先入観もなく、純粋な心で盆栽に対してくれます。そして、学校のベランダで育つ盆栽の成長を楽しみにしてくれます。

そんな彼らの姿から私は純粋な「喜び」をもらいます。「文化は、こうして手から手へ伝えていくものなんだ」と私自身の学びの時間でもあります。文化、なんていうと大げさです。昔から楽しまれている遊びの一つの形をお伝えする。そして、それが郷土愛へつながり、生まれた土地や国のことに興味を持つきっかけとなれば、と考えています。

#### ●やまだ かおり●

盆栽家。1978年埼玉県さいたま市生まれ。江戸時代（嘉永年間）から続く盆栽園の5代目。多くの人々に盆栽の魅力伝えようと自ら盆栽教室を主宰。現在、雑誌や講演、テレビなど幅広いメディアで活躍中。NHK教育テレビ「趣味の園芸」キャスター。

#### 目次

「盆栽を伝える」ということ 山田 香織 ..... 1

心のふれ合いプロジェクト

～赤ちゃん登校日授業～ 山下 良夫 ..... 2~4



心のふれ合い  
プロジェクト



山下 良夫

石川県金沢市立  
野町小学校校長

# ～赤ちゃん登校日授業～

## ●1● はじめに

「廊下が綺麗ですね」「どの子ども私に明るく挨拶してくれます。うれしいです」。学校を訪れた業者さんの声である。

赤ちゃんが学校に登校するようになってから子どもたちがずいぶん変わった。自分を見守ってくれている人がある。自分を待っている人がある。そして自分は誰かのために役立っている。そんな「風」を感じている。

赤ちゃんは、子どもを変え、親を変え、教師を変える。そして何より学校を変えてしまうすごい力を持っている。

## ●2● 出会いとご縁

私が本校に赴任した当初、自分の思いを友だちに上手に表現できずキレル子、家族の愛を十分に受け止められずうつ向き加減で登校する子など、学校には停滞感があった。

また、学校は毎日のようにあちこちに問題が起こり、その対処法に追われていた。目の前の子どもを何とか救いたい。学校ができることは何か。そんなことばかりを私は考えていた。

そんな折、いしかわ子育て支援財団の谷内迪子専務理事やスタッフの方々、鳥取大学医学部の高塚人志先生と出会い、体に電光が走った。子どもたちの心を癒し、自分を肯定し、互いの存在を認め合い、「命」の大切さを気づかせてくれるのは、赤ちゃんであると思うようになってきた。

本校の取り組みは、人との出会いと体験学習に快く同意して下さった赤ちゃんの家族とのご縁が契機となっている。また、それは単発的なふれ合い体験ではなく、教育計画に基づき、意図的、計画的に人間関係を育むための授業である。

本校には毎年赤ちゃんがやってくる。学校はオアシスになる。

## ●3● 指導の実際

### (1) 気づきの体験学習（事前学習）

赤ちゃんを迎え入れるため、子どもたちは人と関わるために必要な学習を行う。高塚先生が提唱する「見る」とは何か、「聴く」とは何か、自分を「伝える」とはどういうことかを学習する。人間関係の本質を追究するとともに正座をするなど型からも迫る。

### (2) 指導の実際とふり返り

このプログラムは、同じペアで3回の交流活動をする。1回ごとに学習のまとめとふり返りを持ち、次回との間に赤ちゃんの家族に手紙を出すなど意図的な教育活動を行う。このため、本校では教育課程に組み込み、指導案を作成し、逐次修正を行っている。

### ☆子どもたちの感想と変容☆

#### 私も成長している（藤木 真愛）

かわいい赤ちゃん笑顔がステキなお母さんに出会って、絵本を読んであげたり、コミュニケーションができて、とても幸せでした。3回のふれ合い授業で、赤ちゃんの成長にも驚いたけれど、私も成長しているのだなあと思いました。

#### 赤ちゃんのすごい力（井下田 果央理）

赤ちゃんと接して、自分らしさを引き出すことができました。これからは自分を大切にしていこうと思いました。「赤ちゃんはすごい力を持っている」と気づきました。少し前向きに意見を言えるようになり、自分を認められるようになりました。こんな自分にさせてくれて、ありがとうございます。

#### 妹や弟にやさしくなれた（松尾 菜々）

2回目の時、私が赤ちゃんの顔を見たら泣いたので、「私の顔が怖いのかな？」と思ってしまいました。それから家でしょっちゅう鏡を見るようになりました。最後の別れの時はとても寂しい気持ちになりましたけれど、悲しいムードになったら、赤ちゃんがまた泣くかもと思ってがまんしました。「赤ちゃん登校日授業」のおかげで、妹や弟にもやさしくなれた気がします。

# 《单元名》赤ちゃん登校日授業



## I 目標

- 赤ちゃんとその家族と積極的に関わろうとする。 探究への【関・意・態】
- 赤ちゃんとその家族との関わりから思いやりや命の大切さに気づく。探究する過程で培う【思考力・判断力】
- 赤ちゃんとその家族を思いやる聴き方・話し方・関わり方ができる。探究に必要な【技能・表現】
- 人と人が理解し合うために必要な、基本的なマナーを理解する。 探究の礎となる【知識・理解】

## II 単元計画(総時数8時限)

時	学習課題・学習問題とまとめ	評価基準
第一次 ②	気づきの体験学習 「そばにいる人との素敵な時間のために」	【知・理】 基本的なマナーの大切さを理解する
第二次 ②	赤ちゃん登校日授業 第1回目	【技・表】 赤ちゃんとその家族を思いやる関わり方ができる
第三次 ②	赤ちゃん登校日授業 第2回目	【思・判】 関わりから思いやりの心の大切さに気づく
第四次 ②	赤ちゃん登校日授業 第3回目	【思・判】 思いやりの心が欠かせないことに気づく

## III 育てたい人間関係力

人と関わる行動目標	本単元で育てたい人間関係力
挨拶・返事 時・場・相手に応じた挨拶・返事をする	● 赤ちゃんとその家族に対して、時と場に応じた気持ちの良い挨拶・返事をする ことができる
見る 相手のことを分かって見ようとして見る	● 出会った赤ちゃんとその家族の表情・様子をよく見ることができる ● 周りの様子や話し手をよく見ることができる
聴く 相手の気持ちを分かって見ようとして聴く	● 相手に体を向けて、相手の気持ちを考えながら、目を見て、反応しながら（うな づく、相づちを打つ、同意する、共感する、質問、をする等）聴くことができる
伝える 目的や意図に応じて相手に分かるように 話す	● 赤ちゃんの家族に自分の気づきや思いを分かりやすく言 葉で伝えることができる ● 気づいたことや考えたことを友だちに分かりやすく話す
会話・話し合い 赤ちゃんの家族やグループの友だちと会 話を楽しむ	● 話題にそって、話をつなげていこうとする ● 交流前後の話し合いで、友だちの話と共通点を見つけな がら話をつなぎ、考えを伝えていこうとする
積極的に関わる だれとでも協力しながら、積極的に活動 することに喜びを感じる	● 赤ちゃんの様子を見ながら、友だちと一緒にあやしたり、 その家族に働きかけたりして、自分から進んで活動する ● 相手のためにできることを考え、自分から積極的に行い、 感謝されることに喜びを感じる
共感的に関わる 相手の思いや良さを受け止め、認めなが ら、関わり合う	● 赤ちゃんの様子や赤ちゃんの家族の思いを受け止めながら、相手の立場に立っ た会話や行動を心がけることができる ● 仲間の良さに気づき、その良さを素直に認め合いながら関わり合うことができ る



## IV 本時の学習(第一次中1、2時) 気づきの体験学習

- (1) ねらい 基本的なマナーの大切さを理解する 【知識・理解】  
 (2) 学習展開

学習活動	時	教師の働きかけと予想される子どもの反応
1 めあてをつかむ	5	気づきの体験学習
2 校長の挨拶を聴く	5	● 校長挨拶
3 「気づき」の体験学習 をする	65	「そばにいる人と素敵な時間を過ごすために」 ① 人と人が素敵な時間を過ごすにはどうすればよいか ② みんな感じ方は色々なんだ… ③ 「見る・聴く・伝える」の大切さ ④ 聴き方一つで相手は気持ちよく話せるんだ ⑤ 自分の考えや気持ちを言葉で伝えよう ⑥ 赤ちゃんとふれ合うためにってどういうこと？ ・赤ちゃん人形だっこ体験・行儀座り・きれいな言葉 など
4 本時をふり返り挨拶を する	10	気づきの体験学習で学んだことをもとに「赤ちゃん登校日授業」 に生かそう
5 挨拶を聴く	5	



## V 本時の学習（第二次中1、2時）第1回赤ちゃん登校日授業

- (1) ねらい 赤ちゃんとその家族を思いやる関わり方ができる 【技能・表現】  
 (2) 学習展開

学習活動	時	教師の働きかけと予想される子どもの反応
身だしなみの確認		<ul style="list-style-type: none"> <li>● トイレ・手洗いを済ませる</li> <li>● 身だしなみを整えて集まる エプロンの着用（名前はガムテープに）</li> <li>● 髪を束ねる・爪を切る</li> </ul>
1 めあてを確認する	5	(BGMを流しておく) <b>赤ちゃん登校日授業</b> ● 参加者全員、校長と向き合い話を聴く ● 「そばにいる人と素敵な時間を過ごすために」大切なことは何か ● 聴き方一つで相手は気持ちよく話せるんだ ● 自分の考えや気持ちを言葉で伝えよう ● かけがえのない「命」と向き合っているんだ ● 予め決められた赤ちゃんとお母さんに、行儀座りで対面する ● 挨拶を交わした後、関わり体験をする (口出しをせず、子どもたちのありのままの関わりを大切に) ● 各グループを回り、子どもたちや親の気持ちを聴く（マイクの音量を上げて） ● 赤ちゃんに絵本を読み聞かせる ● 参加者全員で「赤ちゃん登校日授業」のふり返しをする ● 感じたこと、思ったこと、感謝の気持ちを赤ちゃんとその家族に言葉で伝える ● 参加者全員、担任としっかり向き合い、話を聴く ● 周りの方にお礼の言葉を伝える ● 赤ちゃんの家族にお別れの挨拶をし、見送りをする ● 教師と向き合い、メッセージを受け取る ● 全員で後片づけをする
2 校長の挨拶を聴く	5	
3 「気づき」の体験学習を想起する	10	
4 関わり体験をする	30	
5 体験をふり返る	15	
6 担任の挨拶を聴く	5	
7 お別れをし、見送る	10	
8 メッセージを聴く	10	
9 全員で後片づけをする	10	



### 参考

### 「赤ちゃん登校日授業」実施のためのQ&A

#### Q 赤ちゃん登校日授業のねらいは何ですか？

**A** 最も大きなねらいは人間関係力を子どもたちに育むことです。言葉を話せない赤ちゃんと向き合うことをとおして、子どもたちは自分の成長をふり返り、たった一つしかない命や人と人との絆の大切さに気づいていきます。子どもたちの成長ばかりでなく、我が子を産んだというお母さんの自信にもつながります。

#### Q 授業はどの学年で、何の時間に、何回くらいやれば効果が期待できますか？

**A** 提唱者の高塚人志先生は、もともと医学部の学生、高校生を対象にしてスタートされました。学齢は問わないと考えます。

本校では、次年度に最高学年として低学年の世話をするなど、学校生活をリードして欲しいとの願いから第5学年で実施しています。

教科は道徳、保健体育、家庭科でもよいと考えられますが、本校では「地域と地域の人々との関わり」から「総合的な学習の時間」で実施しています。

また、赤ちゃん登校日授業の回数については、最低2回は必要だと考えます。実施回数が多いに越したことはありませんが、気づきの事前学習と事後学習はそのつど欠かせません。

#### Q 赤ちゃんをどのように募集すればよいですか？

**A** 本校では三つの方法を使っています。一つは赤ちゃん募集の呼びかけを学校のホームページに載せています。二つ目は「いしかわ子育て支援財団」の協力を得て、乳幼児が集う施設にパンフレットを置いて協力を依頼しています。最後はなんとといっても地域、PTA、保護者の協力です。

#### Q 赤ちゃんの募集から授業の実施までのスケジュールは煩雑そうですが、どのようになっていますか？

**A** 該当学級だけで行うのではなく、他の学級・学年も参観することで、赤ちゃん効果は倍増します。準備も含め、学校全体で取り組むことが大切だと考えます。

実施に向けての工程表の詳細については、指導案等も含め、本校のホームページに掲載していますので参考にしてください。

本校のアドレスは下記のとおりです。  
<http://www.kanazawa-city.ed.jp/nomachi-e/>